

世界の森林生態系保全と、地球市民としての社員の意識啓発に取り組んでいます。

地球環境を保全するには、環境負荷を削減するだけでなく、地球環境の回復力を維持し、高めていくことも重要です。リコーグループは、環境NPOや地元住民とのパートナーシップのもとに、世界各地で「森林生態系保全プロジェクト」を展開しています。また日本では、「環境ボランティアリーダー養成プログラム」を実施し、社員一人ひとりの地球市民としての意識啓発を推進することにより、地域社会への環境保全活動の広がりを支援しています。

森林生態系保全プロジェクト

《リコーグループ/グローバル》

地球上には、森林、草原、湖沼、珊瑚礁、海洋など、様々な生き物の生息地があり、それぞれに特有の生態系が保たれています。生態系が崩壊すれば、人類の生命維持に必要な、水・大気・気候・土壌などの自然環境も崩壊する危険性が極めて高くなります。リコーは、多くの生態系の中でも、とりわけ生物多様性が豊かな「森林生態系」に注目して、環境NPOや地元とのパートナーシップのもとに「森林生態系保全プロジェクト」を展開しています。これらの活動は環境ホームページのECO TODAY*で詳しく紹介しています。

* <http://www.ricoh.co.jp/ecology/ecotoday>

●2003年度終了の2つのプロジェクト

多摩丘陵さとやまの復元

東京の郊外に広がる多摩丘陵に残された里山は、生活環境の変化から人手が入られずに荒廃していました。周囲に開発の波が押し寄せてくるなかで、残された貴重な自然環境を復元し保全することは重要なことと考えて、リコーは2000年度より「多摩丘陵さとやま復元」プロジェクトの活動支援を行ってきました。八王子



ボランティアに参加したリコーグループ社員

リコーグループの森林生態系保全プロジェクト

実施部門	国名	プロジェクト		N P O	
		名称	活動内容	名称	概要
リコーコーポレーション	メキシコ	タラウマラ森林・水源・生態系保全プロジェクト	水源林の回復事業	WWF	生態系の保全から温暖化防止まで、生物多様性の保全に幅広く取り組む、世界最大の自然保護NPO。
リコーヨーロッパ	イギリス	「Wood Land Trust」の原生林保護キャンペーンへの参加	森林の生物多様性回復を目的とした「Wood Land Trust」の原生林保護キャンペーンの3年間の支援	Wood Land Trust	1972年に設立された英国の森林保護団体。1,000カ所以上、約20,000ヘクタールにおよぶ原生林の保全をおこなっている。
リコーアジア・パシフィック	オーストラリア	フリモア公立学校の環境教育プログラム「アースキーパー™」の支援	生態系の仕組みやオーストラリアの環境問題を学ぶ子供向けのプログラムの開催。植林などを実施。	フリモア公立学校	森林などの自然保全を通じて子供たちの環境教育を行っている。「アースキーパー™」と呼ばれる、子供たちが自然と調和しながら生きるためのスキルを身につけるプロジェクトをメインに展開。
	香港	サイクン水源林の回復	山火事で消失した水源林の回復	FoE 香港	市民の環境や生態系、資源に対する関心を高めその効率的な利用を促す活動を展開。
リコー	フィリピン	熱帯雨林回復*	フィリピンワシに代表される森の生物種と人が共生していくことのできる豊かな森の回復。	コンサベーション・インターナショナル	32カ国、1,200名のスタッフが「生物多様性の保全」に資金と人材を集中させ、活動を展開。
	マレーシア	熱帯林・オランウータン生息域回復*	オランウータンに代表される、絶滅の危機に瀕している生物の生息空間を拡大。	WWF	生態系の保全から温暖化防止まで、生物多様性の保全に幅広く取り組む、世界最大の自然保護NPO。
	中国	温帯林・バンダ生息域回復*	バンダを代表とする437種の脊椎動物や4000種の植物など貴重な生物のすみかを残し、絶滅種をなくす。	WWF	生態系の保全から温暖化防止まで、生物多様性の保全に幅広く取り組む、世界最大の自然保護NPO。
	日本	長野黒姫アファンの森保全*	クマ、ヤマメなど多様な生物が生きていることのできる広さと食べ物があがり、人も親しむことのできる天然林の維持	財団法人 C.W.ニコル・アファンの森財団	「人と多様な生き物たちが共生できる森づくり」をテーマに、森林の生態学的調査や研究、保全活動を実施。
	日本	沖縄やんばるの森保全*	ヤンバルクイナに代表される、世界でここにしかみられない貴重な生物のすみかを残す	特定非営利活動法人 やんばるの森トラスト	生物多様性に富む沖縄本島北部地域で、野生生物のためのトラスト地を確保し、生息環境の保全と自然保護の推進に寄与することを目的に活動。
	ガーナ	熱帯雨林回復	日陰で育つカカオを利用した持続的森林農業による、人と生き物達が共生できる森の復元	コンサベーション・インターナショナル	32カ国、1,200名のスタッフが「生物多様性の保全」に資金と人材を集中させ、活動を展開。
	スリランカ	世界遺産地域の森林保全と復元	スリランカオナガの住める森を残し、拡大する	スリランカ野鳥学グループ	スリランカにおける鳥類生態研究、野鳥を通じた国内外の自然保護活動を展開。
	Bangladesh	さとやまの復元	子供の教育と植林・育苗の仕事の提供	ポーシュ	Bangladeshにおいて、特に子供を対象にした環境教育を展開。植林活動も実施。

* 各プロジェクトの特徴には、その地域でのFLAG Species (象徴的な生物)を記しています。プロジェクトはFLAG Speciesの保全だけでなく、その地域の森林生態系すべてを保存するために取り組んでいます。

* リコーは継続して社会貢献を行うために、「社会貢献積立金制度」を設け、株主総会での承認のもと、毎年の利益から年間配当金を差し引いた金額の1% (上限2億円)を積み立てています。これらのプロジェクトはその積立金から支援しています。

市や日野市の市民やリコーの役員・社員が、地域の方たちと一緒に汗を流しながら保全を行い、順調に復元が進みました。2003年度にプロジェクトは終了しましたが、地元市民とリコーグループ社員が継続して活動を行っています。

ブルネイのマングローブ原生林の保全

2000年度から支援を行っていた、ブルネイの「マングローブ原生林の保全」プロジェクトは、2003年10月にブルネイの首都で開かれたInternational Symposium On Conservation and Wise Use of Mangroves in Southeast Asiaによってまとめを行いました。日本の企業や団体が保全を働きかけるほど、貴重な原生林であることを、ブルネイ政府、ブルネイ大学が理解し、主体的に保全活動を行ってくれるようになりました。リコーからの働きかけを通じて、森林保全活動が軌道に乗り、保全活動にトリガーをかけるという当初の目標を達成したため支援を終了しました。



リコー社員による視察

持続可能な農業の普及支援 《リコー／ガーナ》

森を守ると暮らしが豊かになる——。
多くの人々が「森の恵み」に気づきました。

西アフリカに位置するガーナ共和国は農業国であり、カカオ輸出が経済を支えています。しかし、他の開発途上国と同様に森林を伐採して農耕面積を拡大することによる森林の減少が問題になっています。この問題を解決するために、「森を切らずに森の中でカカオを育てる」農業がスタートしました。リコーは、環境NPOとのパートナーシップのもと、2002年度より、ガーナでの熱帯雨林回復のための「持続可能な森林農法の普及・啓発」を支援しています。

森の中で育てる、新しいカカオ栽培の普及支援。

カカオ栽培といえば、かつては森林を切り開いた畑で行うのが一般的でした。しかし、単一栽培を続けると、土壌の力が衰え、病害虫がつきやすくなるため、持続的な農作は行えず、他の場所に移動して森を新しく切り開く必要があるという問題がありました。森林の減少を招くこの栽培方法は、人口増加により大規模な森林伐採となって、マルミジウやダイアナモンキーなど、森林をすみかとしている生物の絶滅の危機を招いています。そこで、森を切らずに「森の中」でカカオを育てるといふ、新しい栽

培方法の普及が始まりました。カカオには日陰に育つ種類があり、この方法を取り入れたコミュニティでは、収穫が増えて、暮らしも豊かになりました。森を守ると暮らしが豊かになることに気づいた人々は、森のありがたさを前よりも感じるようになりました。現在では、8つのコミュニティ、約350人がこの方法でカカオ栽培を行っています。今後は、ガーナの農業組合などに働きかけて、持続可能なカカオ栽培を国内に広げるとともに、他の熱帯諸国にも普及させようとしています。



水源林保全活動

《リコーコーポレーション/メキシコ》

米州販売統括会社リコーコーポレーションはWWFとともに、2004年2月、メキシコ・タラウマラ森林の保全活動の支援を開始しました。タラウマラ森林は6万平方キロメートルに渡って広がり、いくつもの川の水源地になっています。また、この森林生態系にしかない松やオークが棲息していることもわかっています。タラウマラ森林を守ることは、150万人の人々が暮らし、60万ヘクタールの農地が広がる北メキシコを潤す大切な水源を守ることに繋がります。



シエラ・タラウマラ地区の景観

水源林の復興支援活動

《リコー香港/香港》

販売会社リコー香港は、香港政府が行っている香港・サイクン郊外の山火事で焼失した森を復元する活動をFoE香港とともに、2001年度より継続的に支援しています。2003年12月7日には、197名の社員や家族が参加し、植樹した木の保育作業を行いました。



作業に参加した社員と家族



タラウマラ森林を視察するリコーコーポレーション社員

子供の環境教育支援

《リコーオーストラリア/オーストラリア》

販売会社リコーオーストラリアは、シドニー郊外のワリモー公立学校が実施しているオーストラリアの環境問題を学ぶ5～6歳の子供向け環境教育プログラム「アースキーパー™」を、2003年3月より継続的に支援しています。7月25日の「学校の植樹日」には、260本の苗の購入資金を提供するとともに、社員が生徒たちと一緒に植樹を行い、交流を深めました。



リコーオーストラリアも参加した植林

植林による子供の啓発活動

《リコーアジア・パシフィック、リコーシンガポール/シンガポール》

アジア・パシフィック極販売統括会社リコーアジア・パシフィック(RA)と販売会社リコーシンガポール(RSP)は、11月8日、シンガポール環境協議会および国立公園グリーンボランティアネットワークとともに、公園での植林活動を行いました。活動には200人以上の子供達が参加し、100本の植樹を行ったほか、自然アートコンテストや環境クイズなど、環境意識啓発のためのイベントも開催しました。



RAとRSPが参加した植林

国内活動事例

植林活動

《リコーマレーシア/マレーシア》

販売会社リコーマレーシア(RMS)は、3月20日、マレーシア森林研究所の中にある植物園で実施された植林プロジェクトに参加しました。同社はこのプロジェクトに10,000マレーシア・リンギットの寄付を行ったほか、植林活動に76名の社員と家族が参加し、研究所の所員とともに100本の植樹を行いました。



RMSが参加した植林

植林活動

《リコーアジアインダストリー/中国》

深圳(シンセン)市にある生産会社リコーアジアインダストリー(RAI)は、12月27日、40の都市と12の国が園芸の展示を行っている「園芸博覧会公園」で実施された植林活動に参加しました。37名のボランティア社員が、20本の植樹を行い、緑地の拡大に貢献しました。



RAIが参加した植林

観音山環境整備ボランティア活動

《埼玉リコー》

6月29日、埼玉リコー社員12名が、(財)日本自然保護協会自然観察指導員埼玉連絡会主催の環境整備活動に参加し、日光きすげ、かたくり、忘れな草などの自生地保護活動を行いました。



埼玉リコー社員によるボランティア

八森町留山ブナ植樹

《秋田リコー》

「秋田リコー環境貢献クラブ」には秋田リコー社員の約95%となる176名が所属しており、クラブ員と会社からの同額募金による寄付を環境保護団体へ行っています。森林保全活動にも参加しており、9月5日、寄付先の白神ネイチャー協会が主催する活動に参加し植樹を行いました。



ブナ植林に参加した環境貢献クラブの社員と家族

長野市市民の森プロジェクト

《長野リコー》

長野市の「アジェンダ21ながの環境行動計画」の市民の森設立プロジェクトに参加し、市民の方々と共に、遊び・癒し・憩い・学びの森づくりを推進しています。



プロジェクトに参加した長野リコー社員と家族

ふれあいの森の保全活動

《リコー九州》

佐賀県脊振村の国有林「ふれあいの森」の保全活動を、地元地域の方々と共に推進しています。歩道の整備、枯れ木の伐採などを行い、今後は地元の子供たちの自然教室も開催する予定です。



リコー九州社員が参加した森林整備

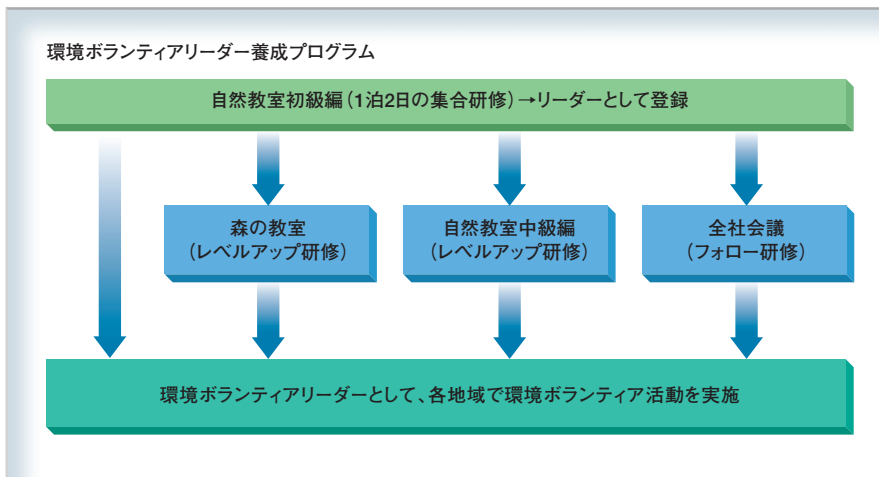
環境ボランティアリーダー養成プログラム

《リコーグループ／日本》

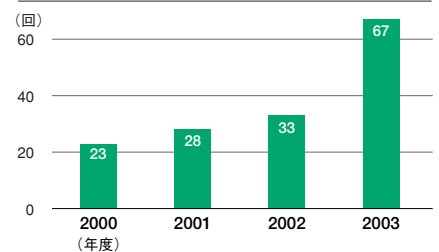
地球環境を保全するには、社員一人ひとりが地球市民としての意識を持って、自主的に社内外で活動を実践することが重要です。しかし、日本では欧米に比べて、市民団体に参画する人や、ボランティア活動に携わる人が極端に少ないのが現状です。社員のボランティア活動を推進するためには、まず企業が社員の意識啓

発を行う必要があります。また、社員の「自然環境を守りたい」という意識が持続するような「感動」を与えるような研修を実施するには、環境保全の先駆者である環境NPOの力を借りることも効果的です。リコーは1999年6月から、社員研修の一環として「環境ボランティアリーダー養成プログラム」をスタートさせ、2001年度にはリコーグループ社員および退職者を含むプログラムへと拡大しました。2003年度末までに、245名の環境ボランティアリー

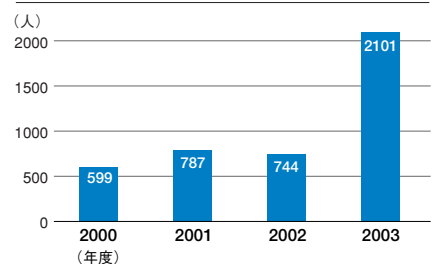
ダーを養成しました。リーダーには役員も含まれています。プログラムは、「自然教室初級編」「自然教室中級編」「森の教室」と「環境ボランティアリーダー全社会議」から構成されており、研修後の活動のフォローも行います。自然教室初級編を受けた後、各リーダーは、それぞれの所属する部署や地域を巻き込んで、環境ボランティア活動を展開しています。



環境ボランティア活動の回数



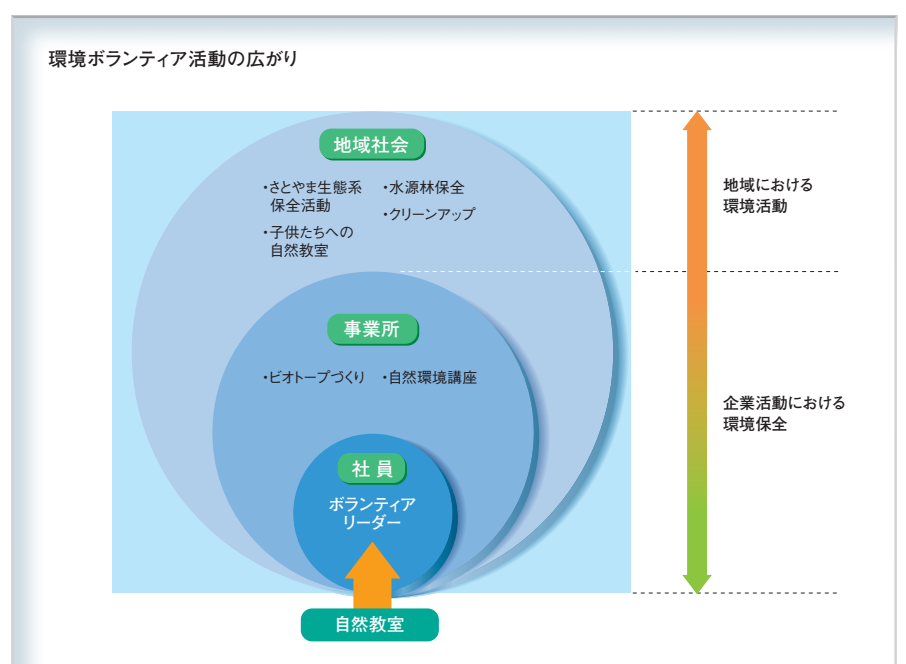
環境ボランティア活動の参加人数



環境ボランティア活動の広がり

《リコーグループ／日本》

環境ボランティアリーダーの活動は、社員や家族・友人との活動から、地元の子供達や地域社会を巻き込んだ活動へと広がりを見せています。ボランティア活動を実施する事業所も、生産拠点から全国の販売会社へと拡大しています。



環境ボランティアリーダーの活動

事業所を開放した活動



自然教室/福井事業所

5月21日、近隣の東十郷幼稚園の園児29名にビオトープを開放し、地元に生息する蝶やとんぼに親しんでもらいました。



自然学習塾/御殿場事業所

4月19日、子供たちを対象にした「自然学習塾」を開催し、社員の家族など58名が竹細工づくりを楽しみました。



自然環境講座/リコー計器

6月28日、佐賀県神埼郡神埼町で、小学生と父兄約30名を対象に「自然環境とクワガタ虫育成講座」を開催しました。

地域社会に密着した活動



子供エコクラブ全国フェスティバル/東北リコー
3月28日に開催された「子供エコクラブ全国フェスティバルinせんだい」に、模擬エコロード*など出展しました。

* 廃棄木製パレットをチップ化し、緑地に敷き歩道にしたもの。



獅子ヶ谷緑地保全

11月8日、獅子ヶ谷市民の森の草地保全のために、セイタカアワダチソウの除草を実施しました。



鎌倉ビーチクリーンアップ

9月15日、第5回「鎌倉材木座クリーンアップ&サンドクラフト」を開催し、社員と家族約160名が参加しました。



事業所周辺の清掃/厚木事業所

9月17日、社員45名が参加し、厚木事業所周辺道路と松羅公園のクリーンアップを実施しました。



事業所周辺の清掃/戸田事業所

10月24日、社員や関連会社社員20名が参加し、「第4回事業所周辺清掃活動」を実施しました。



秦野ざつきりんセーバー秦野市震生湖

4月26日、社員やその家族など17名が参加し、「20回雑木林の植生調査」を実施しました。



やどりき森睦会

8月30日、「やどりき森睦会」と、その仲間11名が、「鶴見川流域 川風・フェスタ2003」に出店し、子供たちと竹笛作りを楽しみました。



グリーンコンダクター/リコー電子デバイスカンパニー

9月20日、「五月山グリーンエコー」が、大阪府池田市で主催した雑木林保全活動に、社員12名が参加しました。



砂丘の一斉清掃/リコー鳥取グループ

9月28日に開催された「秋の鳥取砂丘一斉清掃」に、リコー鳥取グループの社員が参加しました。